

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年8月7日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3435 URL http://www.sanko-techno.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 安田 伸一 (TEL) 04-7157-3535
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,992	3.1	313	△20.6	315	△16.4	223	△59.3
2024年3月期第1四半期	4,842	12.4	394	11.5	376	12.7	548	120.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 434百万円(△27.1%) 2024年3月期第1四半期 596百万円(69.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	28.27	28.22
2024年3月期第1四半期	69.47	68.75

(注) 2024年3月期会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期第1四半期連結累計期間の関連する各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	24,186	17,730	72.0
2024年3月期	24,629	17,564	70.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 17,403百万円 2024年3月期 17,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	3.4	850	△11.7	830	△11.3	580	△37.4	73.41
通期	22,000	4.1	1,850	△10.5	1,850	△9.4	1,300	△25.3	164.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	8,745,408株	2024年3月期	8,745,408株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	844,343株	2024年3月期	844,343株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	7,901,065株	2024年3月期1Q	7,890,765株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、景気持ち直しの動きが見られた一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴うエネルギー価格の高騰や、円安基調の継続による物価高騰が国内消費や設備投資の抑制など景気を下振れさせる懸念もあり、依然として、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設市場におきましては、長期にわたる建設技能労働者の不足や資材価格・労務費の上昇などにより厳しい状況で推移しております。インフラ整備を中心とした一定水準の需要は底堅く推移しておりますが、人手不足に加え「2024年問題」と呼ばれる時間外労働規制が始まったことで、建設工事進捗の鈍化が懸念されます。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、今年度よりスタートした新中期経営計画「S.T.G Vision2026」“私たちは、安全・安心・環境・健康をキーワードに事業拡大とニッチトップを実現します”（最終年度2027年3月期）のもと、「人財育成」、「全体最適化」、「新事業創出」をはじめとした経営課題への取り組みを通じて、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は4,992百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益313百万円（同20.6%減）、経常利益315百万円（同16.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間に負ののれん発生益を特別利益に計上したことに比べ減少し223百万円（同59.3%減）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。報告セグメントの変更については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に詳細を記載しております。

①ファスニング事業

当社の主力製品である、あと施工アンカーの販売は、前年を上回る水準で堅調に推移いたしましたが、電動油圧工具関連の販売並びに完成工事高は、前年を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は3,944百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は491百万円（同9.1%減）となりました。

②機能材事業

FRPシート関連、アルコール検知器関連並びに包装・物流機器関連の販売は、前年を上回る水準で推移いたしました。また、電子基板関連の販売においても、新規連結子会社の売上が寄与したことにより、前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は1,047百万円（同47.9%増）、セグメント利益は50百万円（同41.2%減）となりました。セグメント利益の減少は、主に為替レートの影響によるものであります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ555百万円（3.7%）減少いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産が減少したことによるものであります。固定資産は9,607百万円となり、前連結会計年度末に比べ112百万円（1.2%）増加いたしました。これは主に投資その他の資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は24,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ442百万円（1.8%）減少いたしました。

流動負債は2,949百万円となり、前連結会計年度末に比べ522百万円（15.1%）減少いたしました。これは主に賞与引当金が増加した一方、未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は3,506百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円（2.4%）減少いたしました。

この結果、負債合計は6,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ608百万円（8.6%）減少いたしました。

純資産合計は17,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ、165百万円（0.9%）増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日公表の業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,276,884	3,355,854
受取手形、売掛金及び契約資産	5,163,748	4,590,505
棚卸資産	6,555,036	6,443,978
その他	140,915	191,604
貸倒引当金	△3,043	△3,457
流動資産合計	15,133,541	14,578,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,227,197	2,200,003
土地	4,103,129	4,103,669
その他(純額)	677,913	651,727
有形固定資産合計	7,008,241	6,955,400
無形固定資産	152,850	143,231
投資その他の資産	2,334,396	2,509,093
固定資産合計	9,495,487	9,607,725
資産合計	24,629,028	24,186,210
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,337,844	1,254,449
短期借入金	210,000	260,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	331,497	331,497
未払法人税等	355,286	98,320
賞与引当金	148,577	284,328
その他	1,079,161	711,016
流動負債合計	3,472,366	2,949,611
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	2,007,778	1,925,737
役員退職慰労引当金	54,316	55,941
退職給付に係る負債	1,150,484	1,148,400
その他	350,033	346,475
固定負債合計	3,592,612	3,506,553
負債合計	7,064,978	6,456,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	595,769	595,769
利益剰余金	15,802,287	15,757,009
自己株式	△507,870	△507,870
株主資本合計	16,658,777	16,613,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,660	245,089
為替換算調整勘定	524,616	544,639
その他の包括利益累計額合計	583,276	789,729
新株予約権	42,129	42,129
非支配株主持分	279,866	284,687
純資産合計	17,564,049	17,730,045
負債純資産合計	24,629,028	24,186,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	4,842,995	4,992,772
売上原価	3,340,714	3,556,337
売上総利益	1,502,281	1,436,434
販売費及び一般管理費	1,108,042	1,123,253
営業利益	394,238	313,181
営業外収益		
受取利息	819	731
受取配当金	1,946	2,743
仕入割引	6,058	5,372
補助金収入	—	13,455
その他	8,934	11,996
営業外収益合計	17,759	34,298
営業外費用		
支払利息	2,013	2,346
売上割引	24,587	25,004
持分法による投資損失	644	221
為替差損	5,339	2,038
その他	2,476	2,781
営業外費用合計	35,060	32,391
経常利益	376,937	315,088
特別利益		
固定資産売却益	47	43
投資有価証券売却益	511	—
負ののれん発生益	304,306	—
特別利益合計	304,864	43
特別損失		
固定資産除却損	18	0
特別損失合計	18	0
税金等調整前四半期純利益	681,784	315,132
法人税等	132,784	88,821
四半期純利益	548,999	226,310
非支配株主に帰属する四半期純利益	842	2,953
親会社株主に帰属する四半期純利益	548,157	223,357

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	548,999	226,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,645	186,434
為替換算調整勘定	42,571	22,048
その他の包括利益合計	47,217	208,482
四半期包括利益	596,217	434,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589,391	429,810
非支配株主に係る四半期包括利益	6,826	4,983

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	3,345,123	708,411	4,053,535	—	4,053,535
一定の期間に渡り移転され る財及びサービス	789,459	—	789,459	—	789,459
顧客との契約から生じる 収益	4,134,583	708,411	4,842,995	—	4,842,995
外部顧客への売上高	4,134,583	708,411	4,842,995	—	4,842,995
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,076	42,429	44,505	△44,505	—
計	4,136,660	750,841	4,887,501	△44,505	4,842,995
セグメント利益	540,795	85,293	626,089	△231,850	394,238

(注) 1. セグメント利益の調整額△231,850千円には、セグメント間取引消去2,705千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△234,555千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ファスニング事業」セグメントにおいて、2023年6月30日をみなし取得日として新光ナイロン株式会社の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、負ののれんの発生益を209,783千円計上しております。

「機能材事業」セグメントにおいて、2023年6月30日をみなし取得日として株式会社光洋の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、負ののれんの発生益を94,522千円計上しております。

なお、負ののれん発生益の金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額としております。また、負ののれん発生益は特別利益のため上記セグメント利益には含まれておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	3,614,779	1,047,878	4,662,657	—	4,662,657
一定の期間に渡り移転され る財及びサービス	330,114	—	330,114	—	330,114
顧客との契約から生じる 収益	3,944,893	1,047,878	4,992,772	—	4,992,772
外部顧客への売上高	3,944,893	1,047,878	4,992,772	—	4,992,772
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,282	36,865	40,147	△40,147	—
計	3,948,175	1,084,743	5,032,919	△40,147	4,992,772
セグメント利益	491,427	50,156	541,583	△228,401	313,181

(注) 1. セグメント利益の調整額△228,401千円には、セグメント間取引消去4,508千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△232,910千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメント変更等に関する事項

当社グループは、2025年3月期第1四半期より、各報告セグメントの構成内容を見直し、「機能材事業」に含めておりました電動油圧工具関連事業を「ファスニング事業」に移管することといたしました。

これは、新中期経営計画「S.T.G Vision2026」“私たちは、安全・安心・環境・健康をキーワードに、事業拡大とニッチトップを実現します”の遂行にあたり、ファスニング事業の拡大に向け、マネジメント体制の変更を行ったことによるものであります。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	78,313千円	92,794千円
のれん償却額	5,953千円	5,953千円